



監査・税務の両面から、あらゆるクライアントをサポートする 大勢の方に価値ある情報を——様々な

大企業の監査業務から、中小企業や、個人の税務業務まで、幅広く手掛ける『渡辺会計事務所』。現場主義に重点を置いている同事務所では、クライアントへの対応を迅速化するため、OA化、IT化に積極的な取り組みをみせている。会計士としての仕事のみならず、その高い専門知識を活かして、執筆活動も行う渡辺所長は「クライアントを大切に、質の高い仕事を行っています」と語る。

（聞き手は女優のあいはら友子さん）

優和公認会計士共同事務所・理事長
トーコー経営情報システム㈱ 代表取締役
㈱フォー・ファイブ・ジャパン 代表取締役
日本公認会計士協会 常務理事

公認会計士・税理士

渡辺 俊之

ゲスト・インタビュアー
あいはら 友子
（女優）

【プロフィール】

渡辺 俊之（わたなべ としゆき）……
早稲田大学商学部卒業。税理士である父親の影響で公認会計士の道を志す。資格取得後、新光監査法人（現・中央青山監査法人）に勤務。昭和50年『渡辺会計事務所』を開業する。現在は『優和公認会計士共同事務所』の理事長を兼務するなど、業界に貢献。趣味は三線（蛇味線）。



あいはら 会計士の道を志されたきっかけは何ですか。

渡辺 父親が税理士をしていたことが大きく影響しましたね。大学に入る頃から

会計士になることを意識していたのですが、実際、勉強を始めたのは卒業した年からでして、同じく会計士を志す友人と共に、湯河原の民宿で勉強合宿を始めた

のです。その年に合格することはできなかったのですが、集中的に勉強したお陰で、何とか会計士の資格を取得することができました。

あいはら 資格取得後は、こういった道に進まれたのですか。

渡辺 新光監査法人（現・中央青山監査法人）に就職し、そちらで大企業の監査をしながら実務経験を積み、自らの知識を深めました。そうして、昭和50年に独立し、『渡辺会計事務所』を開業したのです。

あいはら 公認会計士というと、証券取引法や、商法といった法律で決まっている監査が主体となると思うのですが、こちらでも、そうした監査を専門に業務を



渡辺会計事務所

東京都港区芝 4-4-5 三田 KM ビル 2F

TEL 03-3455-6666 FAX 03-3455-7777

URL : <http://www.watanabe-cpa.com>

e-mail : toshiyuki@watanabe-cpa.com staff@watanabe-cpa.com

るクライアントをサポートする メディアを通して、広く世の中に助言する

●スペシャリストからの提言

▼株式公開時に、その企業の業務の執行、会計などを監督し、検査する公認会計士。業務の適性を証明する職業だけに、確かな知識と経験、そして何より企業からの信頼がなければ、務まらない。

▼そんな会計士を26年間務める渡辺所長。会計士のエキスパートが集う、監査法人に勤めていた経験を持つ所長は、事務所開業当初から、大企業の監査のみならず、中小企業、個人経営者の税務まで、幅広く請け負ってきた。

▼そのスタンスと相似形となるのが、渡辺所長の手掛ける、数々の出版物である。自身の持つ高い専門知識から執筆される書物には、広く世間にも活用して欲しいという所長の強い思いが込められているのだ。

▼「私の提言が広く世の中の役に立つと嬉しいですね」と語る渡辺所長。破綻した金融機関への公的資金導入に対する税金の有無、ベンチャー企業の独立支援マニュアルや、不動産の有効活用法など、一個人から経営者に至るまで、その提言の及ぶ範囲は広い。

行っているのですか。

渡辺 私自身の仕事としましては、監査のウェイトも大きいのですが、当事務所には、税理士も数名おります。ですから、大企業の監査を専門とする監査法人とは違い、町の会計事務所として、中小企業や、個人のお客様の税務申告も積極的に行っているのですよ。

あいはら それがこちらの強みでもあるわけですね。

渡辺 ええ。また当事務所では、OA化、IT化にも力を注いでいるのですよ。そのため、スタッフには、パソコンを一人2台持たせていますし、HPもいち早く立ち上げるなど、クライアントに迅速に対応できる環境を整えております。

あいはら クライアントの方を大切にされているのですね。ところで、渡辺所長は出版物も多数出しておられるとか。

渡辺 世の中にモノを申すというわけではありませんが、自分の持っている知識が、少しでも皆様のお役に立てればと思い、仕事の一環として様々な社会的事象について述べさせて頂いているのですよ。

最近では、破綻金融機関の救済のため

の、債権受入れにおける会計・税務問題をはじめ、ベンチャー企業が市場から資金を集めて、株式公開をするための、資本作成マニュアルなどを編集・執筆致しております。現在は、2年以内に不良債権の処理を行うことが叫ばれておりますが、それに絡めたものも、今後は書いていきたいと思っているのですよ。

あいはら なるほど。経営者のみならず、これから開業を考えている人が読んで勉強になりそうですね。では、お仕事の醍醐味とは何ですか。

渡辺 会計事務所において言えば、高度な専門知識を駆使して、堅実な経営を行えることです。しかし、最もやり甲斐を感じるの、皆様のお役に立てているという実感を得られた時ですね。また、執筆活動について言うと、やはり広く世の中に提言することで、その影響を直に感じ取ることができる点にあります。私の提言が広く世の中の役に立つと非常に嬉しいですね。

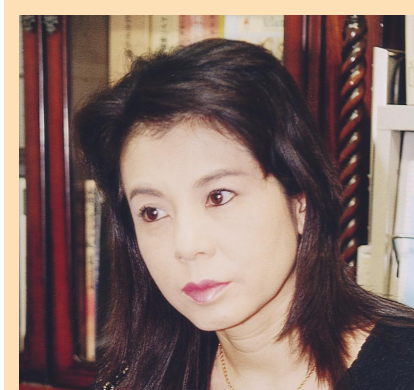
あいはら 最後に今後の展望についてお聞かせ下さい。

渡辺 これからも現場主義を大切に、質の高い仕事で、クライアントをサポート

していきたくて思っております。その合間に、世の中のためになる執筆活動にも力を入れていきたいですね。

また、事務所の経営基盤を固めるために、後継者の育成に取り組んで参ります。その後は、趣味の三線（蛇味線）を思う存分楽しみたいと思います。

あいはら 本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。



あいはら 友子

「執筆活動にも熱心な渡辺所長の言葉には、さすがは専門職という部分を多々感じることができます。テレビなどから出演依頼が来るとのことですから、所長の言葉が持つ影響力の大きさが窺えますね。これからも頑張ってください」

TOKYO

